

「半端な立ち位置だつたばかりに
「もつとできたはずだ」「なぜもつとや
らなかつたのか」とモヤが頭を離
れませんが、おそらく当時の私は私な
りに限界ギリギリのところで背仲伸び
をして頑張っていたのだと思います。
これからはその少しの後悔と少し
の肯定感を胸に抱え、仕事に家庭に
郡山のために私なりにまた精一杯背
伸びして頑張つていこうと思います。
卒業して現役の皆様お一人おひと
りのお姿を傍で見られなくなるのは
とても寂しいですが、ご活躍を心から
お祈りし、楽しみにしています。
六年間、本当にありがとうございました。

のような私でも三年目からは理事になつて、やつと教えられてきた様々なことに、「なぜそれをする必要があるのか?」を考えることができるようになり、伝える際にも理由を説明できるよう、気を付けるようになりました。JCは単年度制だからこそ、様々な立場を経験でき、そこから得られる様々な学びと成長の機会を得られる素晴らしい組織だと思います。

このたび、皆様のおかけをもちまして、JCを卒業することが出来ました。卒業後もJCで学んだことを活かして過ごしていきたいと思ひます。あらためて心より感謝申し上げます。五年間ありがとうございました。

少し考えた方が良いと言われました。言わせてなおさら友達一〇〇人の目標は変わりません。でも、今はその言葉の意味が分かります。郡山青年会議所での活動のなかで様々な出会いの機会の提供をしていただけ、まちを想い、人を想う方々との出会い、そして過ごした時間が人としての私を成長させてくれました。一〇〇人かは不明です。でもいくつになっても私を成長させてくれた一〇〇人位の同志が出来ました。友達一〇〇人計画は失敗しましたが、それ以上の出会い、経験をさせてください。た郡山青年会議所諸先輩方、現役会員の皆様に心より感謝致します。三年間ありがとうございました。

二年目はまちづくり委員会で
ほぼ二〇一二総務委員会の仲間
と活動して更に団結力を高める
ことができました。しいて言えば、
もう少しほかの現役メンバーと
も絡みたかつたですが、卒業して
からの課題と致します。

大変な活動の中、一切弱音を吐かず献身的に取組んでいる矢吹君の姿を目の当たりにできたことは貴重な学びとなりました。そして、あまり参加できない私を沢山支えてくれた同期メンバーには感謝しかありません。

これから現役メンバーには益々ワクワクするような事業(運動)を開いていくことを期待しています。私も卒業と言えどまだ四十年です。まだまだ青年経済人として情熱を持つて故郷郡山をより良いまちにできるよう活動していきます。

お互いにいつまでも切磋琢磨し研鑽し合いながら、明るく豊かなまちを創造していきましょう!

短い期間でしたが、ありがとうございました。



安齋
元喜

学びを量に



黒田
大輔

友情に感謝



大喬
後傳

友情に感謝



上
卷

感謝



高喬
晉也

2022年度 卒業生あいさつ



皆さまとの出会いに感謝を込めて
二〇一五年に郡山青年会議所に入会し八年間活動させていたことを記憶しています。
入会一年目の総務委員会での活動は衝撃の連続で刺激的な年となりました。当時のスタッフの方々には、厳しくも優しくご指導いただいたことで青年会議所の存在意義や目的などを理解することができましたし、同期はじめメンバー同士の太い絆を築くことができました。
二年目以降は、LOMの活動だけでなく、日本、東北地区、福島ブロックへの出向という貴重な機会をいただきました。出向を通してより多くのJAYCEEと活動・運動と共にしたことで、物事の捉え方や価値観多様性など様々なことを学ばせていただきました。
直近の三年間は、コロナ禍といふこともあり思うように青年会議所活動ができず、LOMの皆さまには大変ご迷惑をお掛けすることになりましたし、自分自身悔いの残る期間となりました。
青年会議所での活動・運動・経験を通して、LOMの皆さまをはじめとする多くの方々との出会い、そして同士仲間ができたことが私にとって最大の財産となりました。八年間、本当にお世話になりました。

私のJC活動は『一期一会』とい
うスローガンの二〇一五年度総務
委員会から始まりました。
初めは戸惑いもありましたが、
事業に参加する度にメンバーとの
絆が深まるのを肌で感じることが
できました。また、この一年目で社
会人として大切なことの多くを
学ぶことができこの経験がその
後の私の人生にどれだけ役に立つ
かを考えると、貴重ありがとうございました。
JCの魅力は、普段ではなかなか
お会いできない諸先輩方や、他
業種のメンバーとご縁が繋がる
いうところにあると思います。一人
では解決できない課題も、豊富な
経験や別な視点からのアド
バイスをいただき、気が付ければ自
分だけではたどり着けなかつたよ
うなゴールまで導いていただき、
素晴らしい景色をいくつも見せて
いただきました。サポートいただ
いた多くの皆様にこの場をお借り
して厚く御礼を申し上げます。
JCは卒業してからが大切だと
よく伺います。郡山青年会議所の
卒業生として、その名に恥じぬよ
う人間力を磨き、現役メンバーの
サポートに努めて参ります。
八年間でご縁をいただいた全て
の皆様に深く感謝申し上げます。
本当にありがとうございました。

奈良JCとの交流会及び

うねめまつり踊り流し参加

八月五日、六日、七日(金・土・日)奈良JCとの交流会及びうねめまつり踊り流しが開催されました。本年は三年ぶりのうねめまつりということもあり多くの市民の方々がご参加されていました。当団体の新入会員もお越しのたいたい奈良青年会議所様をおもてなしするために、手探りの部分もありながらも精一杯企画を練つて臨みました。エクスカーション後は郡山駅前に戻つてきて、うねめまつりの踊り流しに参加しました。三年ぶりの踊り流し参加ということで、メンバー全員で踊り流しを行いながら改めて地域の大きなお祭りの重要さを感じることができました。

今回の踊り流しでは私達郡山青年会議所と奈良青年会議所が審査員特別賞を頂く事ができ、田い出に残る踊り流し参加となりました。その後の奈良青年会議所様との交流会では双方の次年度理事長候補者から挨拶が行われ、来年への想いを共有することができました。また、三年ぶりの実地での交流もありそれぞれ話が盛り上がりつたことで、改めてお会いして交流する重要性と姉妹JCの絆を感じることができました。

八月二十日(土)郡山カルチャーパーク内
キャラーセンターにて防災体験キッズワーキショッピング
体感型防災アトラクションが開催されました。
本事業では、近年大規模な災害に見舞われるごとに多い福島県において、地域の未来を担う子どもたちに過去の記憶と教訓を伝え、事業を通じて防災減災意識の向上とかけがえのない命を守る切さを知り、周囲の人々に対する思いやりや助け合いの精神を育むことを目的に体験型の防災事業として実現されました。

郡山市社会福祉協議会との災害時等における協力体制に関する協定書締結式



東北青年フォーラム in 栗原

会福祉法人郡山市社会福祉協議会様と公益社団法人都山青年会議所の「災害時等における協力体制に関する協定書締結式」が行われました。

九月二日、三日、四日（金～日）次代の新潮流を掴め！共に駆け出そう！東北の資源を活かした新たな価値の創造へのスローガンのもと、東北青年フォーラムが三年ぶりに実地開催となりました。郡山青年会議所からも多くのメンバーが栗原の地へきました。

本年郡山青年会議所からは（公社）日本青年会議所東北地区協議会・会務担当副会長柳沼勝恵君、事務局次長高橋章太君、東北青年フォーラム運営委員

会副委員長二
瓶一嘉君、幹事
大越惇平君、東
北グリーン社
会確立会議委
員佐藤研二君、
価値デザイン
会議委員三瓶卓也君が出席しており、
各ファンクションにて活躍をしていきま
した。また、本年は二〇二二年度次世代北
東北アカデミーへの参加者として、菅

防災体験キッズワークショップ

体感型防災アトラクション



八月例会

八月二十二日(月)郡山市郡山公会堂にて八月例会が開催されました。久保田理事長の挨拶では新型コロナウイルス感染症の蔓延が続いている中、対外事業や奈良青年会議所様との交流など多くの事業がある中で、改めて事業に参加する気持ちをしつかりと持つて欲しいことやなぜJCに取り組んでいるか明確な答えを持つてほしいことをメンバーに對してお話をありました。

その後の会務報告では委員会毎にメイソイン事業への協力の依頼があり、大きな事業がこれから続くことでの緊張感や期待感の高まる会務報告となりました。出向者報告については、東北地区協議会出向者からは開催が目前に迫った「東北青年フォーラムin栗原」についての話があり、様々なファンクションの紹介がありました。また、日本青年会議所・福島ブロック協議会へ出向しているメンバーからは今後の各出向先のメンバーの活動の紹介があり、メンバー間の意識の共有を計ることができた報告となりました。

様々な事業が本格化していく時期となつてきましたが、私達郡山青年会議所はより良いまちづくり、ひとづくりのためにまだまだ前進していくことを改めて意識共有的でできた例会となりま

九月例会・定期総会



The image consists of two parts. On the left is a black and white group photograph of approximately 20 people, mostly young adults, standing in two rows outdoors. They are dressed in various casual and semi-formal attire. On the right is a color photograph of a man in a suit standing behind a podium, speaking into a microphone. Behind him is a large projection screen displaying the text "MUSIC TOMORROW KORIYAMA" and "会社員年会議所 郡山市".

八月例会

十月例会



委員会の会務報告では青少年育成委員会から十月二十九日に開催される第三十五回わんぱく相撲全国大会の告知がされ、幼少の頃わんぱく力士として活躍した長谷川委員からのわんぱく相撲の魅力に関するお話をありました。また、まちづくり委員会からは十月十六日に開催された「魅力発見！こおりやま」に関して、発表者出店者来場者が郡山の新しい魅力について知ることができ、反響が大きかつたとの報告があり、今後の継続した活動を誓う一幕もありました。

出向者報告では十月に行われた全国大会に関係する報告や一年の締めくくりに近づいていることを感じる内容のお話がありました。本年度もいよいよ残り約二ヶ月となりましたが、各メンバーそれぞれに各種運動・活動が控えており、さらに高い意識で日々のJC運動活動へ取り組む郡山青年会議所の勢いも感じることができた例会となりました。

郡山青年会議所 × Ussiv

～見せ方一つで地域が変わる～



第三十七回 わんぱく相撲 全国大会



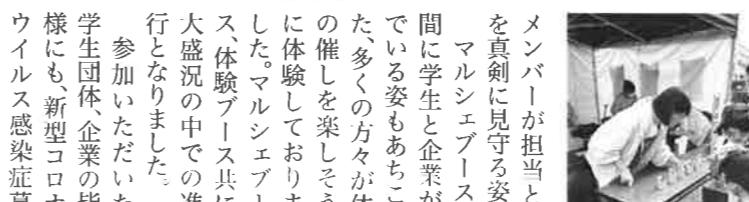
また本大会のファンクションで全国の卒業生が集まり卒業式が開催されました。当青年会議所からも多くの卒業生が、今までのご自身たちの活動等を思い思ひ振り返りながら参加されました。

「私が今大会も、花田将司議尚太郎専務理事のため尊い有限なことです。そして、このことを抱えながら、取り組む姿に感動しました。」
という感想がありました。本年度も残り二か月程となり、段々と近づく一年の集大成とともに別れの時期も近づいてきたことを実感しつつ、様々な想いを語り合うことができた大変貴重な大会となりました。



されてしまう
ことが近づいて
きた寂しさ
を実感するこ
とになつた卒

業式でもありました。



A black and white photograph showing a group of people standing around a table covered with a cloth. The table appears to have some items on it, possibly for a demonstration or exhibition. The setting looks like an indoor or sheltered outdoor space with a metal frame ceiling.

まち夢通りにて
が開催されまし
ましたが天候も晴
々があつまる事業



○田元氣会



ネックスにてOB元気会が開催されました。四月のチエリーパーティに続いてのOB会の諸先輩との貴重な交流の場であり、本年度は三年ぶりのOB元気会の開催となりました。